

合格体験記

(74期生)

令和4年6月作成

()期 ()年 ()組 ()番
名前 ()

八尾高校の在校生の皆さん、今春の卒業生（74期生）の「合格体験記」がまとまりました。74期生は、大学入試改革の2年目で共通テスト難化、また新型コロナの収束が見えないなど、様々な意味で大変な中、最後まで頑張り抜いた生徒が多くいました。

みなさんの直近の先輩が、皆さんの“第1志望”の実現のためにアドバイスを送ってくれています。今後の受験に向けた取り組みについて参考になることが、たくさん記載されています。例年通り、「クラブ活動との両立」、「日常における学習方法」、「受験に向けて大切なこと」など、項目別を書いてもらいました。ここ数年は“先輩たちの合格体験記を繰り返して読むことで、モチベーションを維持して頑張れた”という声も多くなって来ました。是非、しっかりと読んで、今後の学習活動や進路実現に向けた取り組みの参考にしてもらいたいと思います。

進路指導部

目 次

◎国公立大学

【一般選抜 前期】

① 大阪大学	工学部	サッカー部
② 神戸大学	法学部	硬式テニス部
③ 神戸大学	工学部	サッカー部
④ 大阪公立大学	医学部	硬式野球部
⑤ 大阪公立大学	法学部	バドミントン部
⑥ 兵庫県立大学	工学部	ソフトボール部

【一般選抜 後期】

⑦ 大阪教育大学	教育学部	吹奏楽部
----------	------	------

【学校推薦型選抜】

⑧ 大阪教育大学	教育学部	ソフトボール部
----------	------	---------

◎私立大学

⑨ 関西大学	総合情報学部	
⑩ 早稲田大学	社会科学部	ハンドボール部
⑪ 同志社大学	理工学部	バスケットボール部

① S. Y さん 大阪大学 工学部 前期合格 サッカー部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

高校2年生の夏から塾に通い始めたので、そのときから部活がある日でも関係なく毎日通うようにしていた。昼から部活の試合があるときは朝から通塾していた。

(2) 1.2年時の学習方法

塾に入るまでは、がっつり勉強するのは定期テスト前のみであった。ただ自宅にいるときの暇な時間は英単語や古典単語の暗記に割いていた。また数学は単元が終わるごとに問題集を解いていた。

(3) 志望校の決定について

はじめはみんなに流されて大阪公立大学を志望していたが一年時の三者懇談で大阪大学を勧められた。そのときは絶対無理と思っていたので特に考えていなかったが本格的に志望校を決めるときになって兄に相談したときに、今の段階で無理と決めつけるのはまだ早いと言われ、とりあえずの目標校として大阪大学を第一志望にした。それを周りの友達に言っていくと応援してくれる人がちらほら現れ始めてそのときからしっかりと志望校になった。受験が終わってから考えると周りに志望校を言うのは大事だと感じた。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

数学と英語の input が終わっていたのでこれらはずっと演習をしていた。理科や社会は input がまだ終わっていなかったのでどんどん知識を入れるようにした。わからないところがあれば YouTubeなどで授業動画を見るようにしていた。また英語は例文を音読して必ず毎日英語に触れるようにした。3年になってすぐ受験モードに切り替えられていない人が多かったが、自分はずっと前から勉強をしていたのですぐに切り替えることができた。

②夏休み

input が終わっていたので2次試験の過去問を10年分と受ける予定であった私立の過去問を5年分解ききった。そこから第一志望の傾向を知り、頻出分野で苦手なところをなくすように勉強した。共通テストのみの科目は頻出分野とか関係なく全範囲ムラがないようにした。

③9月～11月

国語：共通テストの過去問や予想問題を、時間をかけたら確実に解けるように演習した。古文に関してはまだ input が足りないと感じたので単語や文法を、隙間時間を活用してひたすら暗記した。

数学：阪大に似た傾向の大学の過去問を探してたくさん解いた。苦手分野は簡単な問題を解いて基礎を固め直した。そこから段階的にレベルを上げていって得意まではいかないがある程度解けるようにした。

英語：和文英訳や英文和訳、自由英作を少しするぐらいであまり時間をかけなかった。

理科：数学と同じ感じで演習して時間があつたのでプラス α で阪大よりも上の大学の問題を解いていた。

社会：input と output を同時進行でやっていた。社会に関しては input に終わりがないので
9月～11月でもなかなか点数が伸びなかった。

④共通テスト前

国語：共通テスト予想問題を時間内で解ききれるように演習した。またなにかから解き始めるの
かなどの戦略を固めていった。

数学：共通テストレベルの問題は概ねすべて解けるようになっていたので2次の演習を優先し
ていた。共テの予想問題を解くときは友達と一緒に解くなどしてモチベーションを高め
ていた。

英語：時間に負荷をかけて予想問題を解いていた。英語もどの順序で解くかの戦略を立てた。

理科：2次でなかなか出ない範囲に絞って勉強していた。

社会：共テ予想問題を解いてこの時期もまだ input をしていた。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

過去問の解き直しや模試の過去問をしていた。英語は添削を英語科の先生にしてもらいそこで
得た模範解答などを、時間を見つけて音読していた。

*私立入試直前

同志社大学と関西学院大学を受けたが夏に過去問を一回解いていたので直前にどういう風に解
くかの作戦だけ決めてあとは国公立対策をしていた。どれだけ高い私立といっても併願校なの
で第一志望の大学よりはレベルが落ちるので、傾向は違うといえど2次対策で賄える。

(5) 大学受験で大切なこと

早い時期からの勉強の習慣をつけることが大事で、3年になってから始めようと思ってもな
かなか身が入らないし、受験では自分に合った勉強法を見つけることが大事なので早い時期から始
めることでいろんな勉強法を試すことができます。また受験期はモチベーションの維持が難しい
ので、志望校が同じ友達や学力が同じくらいの友達を見つけてその友達ととことん競ってくださ
い。八尾高校は部活が盛んなので負けず嫌いの人が多いと思うので、競うことで自ずと勉強を頑
張れると思います。

(6) 後輩へのメッセージ

受験はとてつらく苦しくそして時に残酷なものです。やめなくなる時もあるでしょう。そう
いうときは受かった時のことを考えてください。自分の周りの人たちは必ず喜んでくれると思
います。特に親はすべての頑張りを知っているの一番喜んでくれるでしょう。自分のためにする
受験ですが行き詰まった時は誰かを喜ばせるために頑張ろうと思ってやるのも一つの手だと思
います。受験は団体戦なので一人でやるのはつらいと思うのでみんなで協力して頑張ってください。
応援しています。

② Y. T さん 神戸大学 法学部 前期合格 硬式テニス部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

私は硬式テニス部に所属していて、1、2年生の時は定期テスト前の部活がオフになる期間に勉強をしていました。3年生になってからは少し受験勉強を始めましたが、5月の引退試合までは部活動を一番に考えていました。

(2) 1.2年時の学習方法

1、2年生の時は小テストや定期テストにむけて勉強をしていました。単語や文法の小テストなどで合格点に満たなかったら再テストや課題があり、定期テストで欠点を取ったら走らないといけなかったのが、部活の時間が削られるのが嫌で必死で勉強をしていました。「勉強するからには覚えなアカンことはちゃんと覚えておこう」と思って、小テストや定期テストの勉強をしていたら、受験勉強に入ったときに基礎的な部分で困ることが少なかったのが、小テストや定期テストに向けて真剣に勉強をし、それを積み重ねるといいと思います。

(3) 志望校の決定について

私は法学部に進学するというのは決めていたので大学ごとの法学部のホームページを比べたりして志望校を決定しました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

部活が終わった後、塾の自習室に行って勉強をしていました。基本的にしてきたことは塾の授業の復習で、日本史など覚えなアカンことが多い教科は早いうちに覚えてしまおうと思って授業で習ったことなどをすぐにインプットするようにしていました。

②夏休み

私は家よりも自習室のほうが集中できるタイプだったので、たくさん自習室に通ってました。学校の数学や倫理の講習を受講していて、朝に講習があったので早起きできるきっかけになってました。夏休みから理科基礎や倫政をYouTubeで勉強し始めました。ご飯を食べるときや朝準備をするとき見るのが隙間時間を使えるのでお勧めです。机に向かって勉強している時間は国語、英語、数学の3教科にけることが多かったです。特に私は数学が苦手だったので、授業や講習でわからなかったことはすぐに先生に質問して理解するようにしていました。

③9月～11月

英語や数学は二次対策がメインで記述の問題をしていました。共通テスト対策は授業ではなく自習で行うことが多かったです。国語は主に共通テストの対策として過去問をしていましたが、時々記述の問題もしていました。日本史は引退前と変わらず習ったことはすぐにインプットして、ずっと前に習ったことの復習もしていましたが、時間に余裕がないので、寝る前や朝準備終わってから家出るまでの時間とかに集中して復習していました。理科基礎や倫政はこのくらいの時期から本格的に勉強を始めました。倫政は、図説に図が多くて仕組みや考えを理解しやすいので図説を読み込んでいました。また問題集を解いてわからなかったことは、図説で調べるなどして覚えていきました。理科基礎は授業で過去問を取り扱っていてそれを解いてわからないところを明

らかにして理解するようにしていました。

④共通テスト前

予想問題集やセンター試験の過去問をひたすらに解いていました。時間をしっかり計って解いて、間違えたところは必ずなんで間違えたのかを考えるようにしていました。問題演習を通して自分に足りないところを見つけてそれを潰していくことが共通テスト前にできることだと思います。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

志望校の過去問を解いていました。過去問を解いて自分の苦手な部分を理解することが大事だと思います。あと、記述の問題は先生に解答を見てもらっていました。自分で見るだけだと大体正解かなと勝手に思ってしまうけど、人に見てもらおうと間違いや雑な部分が見えます。解答を見てもらうことで丁寧に正確な解答をかけるようになると思うので記述がある人は自分の解答を見てもらうことをお勧めします。

*私立入試直前

毎日過去問を解いていました。私は国公立志望だったので共通テストが終わるまで私立の過去問を解いたことがなく少し焦りながら勉強をしていました。

(5) 大学受験で大切なこと

自分のペースで勉強をして自分の全力を出すことだと思います。周りで頑張っている人たちをみて焦るのではなく、いい刺激をもらえるなあと考えてほしいです。自分の中で頑張りがきれたなと思えたらいい経験になると思います。あと、周りの人を頼ることも大事です。自分一人で頑張りすぎると大変で辛くなってしまうと思います。そんな時は学校や塾の先生、家族、友達などに頼って息抜きするといいと思います。

私は先生や友達、家族と話したりすることが楽しみになっていてその時間があるからこそ頑張れたと思うので、辛くなったら周りの人を頼ってください。

(6) 後輩へのメッセージ

受験当日にあの時もっと勉強できたなとか後悔することはおそらく全員があると思います。でもその後悔も含めて自分頑張ったなと思えるくらい勉強したらきっと受験が終わった後にすっきりするし、いい経験だと思えると思います。受験が終わった時に頑張ってたよかったです！と思えるように全力出し切ってほしいです。応援しています！

③ K. O さん 神戸大学 工学部 前期合格 サッカー部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活と勉強の両立は本当に難しいと思います。自分は、部活のある日に自分で勉強できる自信がなかったので塾に入りました。強制的に勉強できるので自信がないならそうしたほうが良いと思います。

(2) 1.2年時の学習方法

塾に入るまでは定期テストの勉強しかしていませんでした。塾には入ったのは2年の12月で、それからは学校の定期テストと塾で出される課題をこなしていました。

(3) 志望校の決定について

1年の時に、早い段階で志望校を決めておくとう勉強がしやすいと聞いたので、そのときに神戸大学をめざそうと決めました。神戸大学を選んだ理由は、国公立に行きたかったのと、おしゃれなイメージがあったからです。大学を志望するきっかけは何でもいいので、明確な目標を立てておくといいと思います。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

平日は毎日7時から塾の授業があったので、部活後すぐに塾に行っていました。土曜日と日曜日は部活があることが多かったので勉強はほとんどしていませんでした。

②夏休み

夏休みは文化祭の準備があるので思っているより勉強はできません。その中で、どれだけ効率よく勉強できるかがカギとなってきます。

③9月～11月

この時期になると、頭の中は勉強のことでいっぱいになります。自分がこの時期にしていた勉強法は、次の模試で数学は〇〇点、英語は〇〇点などと具体的に目標を立てるというものです。この時に、達成できない目標を立てるのではなく、がんばったらできそうだなくらいのハードルの低い目標を立てると自分の自信につながるのいいと思います。

④共通テスト前

共通テストは過去問が1年分しかなかったので予想問題集をたくさん解きました。センター試験の過去問も解きましたが、形式が結構違うので予想問題集を解くのがいいと思います。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

過去問を中心に、不安な範囲だけ問題集を使って確認をしていました。

*私立入試直前

私立の入試は大学によって傾向が全く違うので、過去問をたくさん解きました。

(5) 大学受験で大切なこと

受験で大切なことは、3つあると思います。1つは、シンプルですが諦めないことです。自分は、模試で第1志望の大学の判定がEしか出ませんでした。それでも重要なのは本番だけなので、E判定しかでなかったことを気にしないようにしていました。幸いにも、本番の共通テストリサーチでA判定がでたので安心しました。国公立志望なら、共通テストが終わるまで志望校を落とす必要はないと思います。もう1つは、どれだけ効率よく勉強できるかということです。隙間の時間を見つけて勉強したり、一度勉強したことを忘れないように復習したりするのもそうですが、自分が一番意識していたのは、入試で点数がとれる勉強をすることです。そのために、早い段階で過去問を少し解いておくといいと思います。最後は、自信を持つことです。受かったらいいなくらいの気持ちで受験して合格した人はほとんどいないです。なので、受験本番までに自分なら

受かるという自信がつくように勉強をすればいいと思います。

(6) 後輩へのメッセージ

自分の悔いのないように最後まで努力して受験合格を勝ち取ってください。頑張ってください。

④ K. D さん 大阪公立大学 医学部 前期合格
硬式野球部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活動などで疲れている状態でも、2,3 ページ勉強するとか、少しだけ頑張ると受験期でも体力がついて、最後まで踏ん張ることができます！

(2) 1.2年時の学習方法

寝る前、ストレッチなど、時間を見つけるのも大事です。部活動がない人は、ゆっくり授業の復習とテスト対策を頑張ってください。部活動に参加している人は、オフの日に自習したほうがいいです。僕は、オフの日に自習室に残ったり、電車で通学していたので通学中は単語帳をよく使っていました。一番大事なのは、休日を自分で決めてしっかり休むことです。しっかり遊んで、リフレッシュして、しっかり寝てください。

(3) 志望校の決定について

僕は、怪我がきっかけで自分の進む道を決めました。興味があったことでもあり、大学で勉強したい気持ちが強くありました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

定期テスト対策を何とか頑張っていました。提出物も何とかぎりぎり提出していました。英単語だけは毎日勉強していました。この時期はどの部活も大舞台に向け、練習に励んでいると思うけど、英単語 古文単語 漢文などの知識として覚える必要があるものを部活引退までには復習すると思います。

②夏休み

7月終わりに部活を引退してからは、まだ切り替えができず、英単語しか行っていませんでした。大学に行きたいけれど、模試でもE判定で程遠い状態でした。模試でうまくいなくても落ち込むことはないです。いかに後期入試まで粘ることができるかだから、二次対策、塾での勉強や、学校の講習、先生など使い倒すくらいの気持ちで取り組んでください。

③9月～11月

結局10月までちゃんとした受験勉強は行っていませんでした。10月になり、自分から勉強したいと思って自分の希望に合わせて勉強できる個別塾に入り、ほぼ缶詰め状態で勉強していました。しかし、自分から始めた勉強でも当たり前のように模試ではE判定でした。共通テスト対策を始める時期になってきているので、受験科目、大学の配点などもう一度確認して、勉強しほうがいいと思います。

④共通テスト前

膨大な量の宿題と1日13時間勉強をして毎日を過ごしていましたが、最後の12月のプレ模試、KパックでもE判定でした。私立の勉強は一切せず、国公立大学一本で（公募入試もなし）共通テストに臨みました。この時期で上がりやすいのが暗記科目です。短い時間で何回も復習したり、本当に苦手な分野を勉強していました。モチベーションが保ちにくく、不安になりやすい時期だけど、よく葉加瀬太郎の曲を聴いて試験に臨んでいました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

共通テストで自己最高点をたたき出し、河合でB判定が出ました。このまま浪人覚悟で前期試験へ2週間で市立大学、府立大学の英語の過去問10年分を2周するなど自分ができる勉強を一気に詰め込みました。単語帳は5週以上していました。僕が受けた学科は面接が必要だったので、面接対策として、先生方に協力していただきました。面接内容は討論型だったので、コミュニケーション能力や毎日いろんなことに触れていると面接試験になっても自分の意見が言いやすく、またどんな人物になりたいかなどをはっきり言うことができると思います。

*私立入試直前

国公立で学びたい思いが強かったので、私立大学は一切受けませんでした。

(5) 大学受験で大切なこと

どれ程自分が目標としている大学が程遠くても、受かる可能性を信じて、最後まで粘り強く続けることが大切です。また、1日に受験に必要な教科を全部勉強することも大事です。単語などの暗記科目は短時間で何回も周回することをお勧めします。英語長文、国語は一題の長文をゆっくり精読して文構造や、要旨を完璧につかみ取ることが速読の最大のポイントです。リスニングは解き方にもコツがありますが、単語を大まかなイメージで覚えていたら英語脳になることができます。僕は本当に10月からちゃんとした受験勉強を始めて合格することができました。たくさん辛いことがあって、ストレスもたまる一方だったけれど、ここまで続けてこられたのは自分が熱い思いで受験に臨んでいたからだと思います。

(6) 後輩へのメッセージ

一生に一度しかない高校生活を謳歌するために、充実した日々を過ごすためには今日1日が自分にとって納得のいくように過ごすことができたかだと思います。たくさんイベントに参加して、部活動に人生をかけて、勉強をいやいやながらすることも結局は思い出になります。自分はどんなに不幸なんだ。あいつだけなんでできるんだ。などいろんなことを考えてしまうと思います。でも、最後の最後は自分次第です。将来どんな生活を過ごしていくかも自分次第です。受験勉強含め何事にも遅いなんてことはないと思います。何もしたいことがない人でも、理想とする生活を思い描くことができると思います。何か一つ強い信念をもって毎日を過ごしてほしいです。今勉強していること、練習していることが意味ないことだと思っけていても、後になって生きてきます。運命は最善になっています。何か心に残るものがあればうれしいです。応援しています。

⑤ S. W さん 大阪公立大学 法学部 前期合格 バドミントン部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

受験を意識して勉強を始めたのは、部活引退後の3年の夏休みからでした。僕自身、2年になつたら～、長期休みに入つたら～、部活を引退したら～勉強しようなど、勉強することを先延ばしにしてきたのでお世辞にも部活動と学習の両立が出来ていたとは言えないと思います。しかし、塾に通っていなかったこともあり、志望校の傾斜配点や共通テストと2次試験の比率、参考書等々の情報収集は2年の終わり頃から始めていました。後々その大切さに何度も気付かされました。

(2) 1.2年時の学習方法

先程述べた通り、1.2年時には自宅学習はあまり出来ていませんでした。小テストは休み時間の間に覚えて臨み、定期テストは1週間前に出される教科の日程や範囲が出てから、勉強する教科の順番を考え勉強する形が多かったと思います。今振り返ってみると、当時のスタサポや進研模試の結果で少しだけ自信をもっていた頃かもしれません。ですが、結果がどうであれこの時期の模試は気にする必要は全くないと思います。

(3) 志望校の決定について

1年生の終わり頃から漠然と国公立には行きたいと思っていましたし、自分たちの代で市大と府大が統合して大阪公立大学が出来ることも知っていました。ですが、志望校を自分の中で決定したのは、3年生になる頃だったと思います。それから、だんだんとこの大学に行きたいなという気持ちが強まってきました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

勉強というよりは、動画やサイトなどで参考書や志望校について調べていました。私立の大学は共通テスト利用で受けることや、2次試験の過去問をちゃんと解きはじめるのは共通テストが終わってからにしようなど、自分の中で受験のおおまかな計画を立て始めたのもこの時期だったと思います。共通テスト本番同日模試の結果と志望校のボーダーラインとの差に焦りを感じたことで、自身の学力が全然足りていないことに気づき、受験というものをより意識し始めました。また、進路閲覧室で参考書を借り始めたりもしました。

②夏休み

夏休みになると周りも受験の話をし始めたり、参考書を持ち始めたり、塾で朝から晩まで勉強をしていたりして、周りの意識との差に驚きました。だから、僕自身も新たな参考書を買って、基礎(特に英語)を固めていきました。もともと勉強をすることがとても嫌いだったので、短い時間から少しずつはじめて最終的には、5.6時間ぐらひは勉強することができるようになり、共通テスト模試の点数も徐々に上がっていきました。この時期に自分と志望校のレベルの差を知ろうと英語だけ過去問を1年解きましたが、2割ほどしかなく、記述力や読解力などの2次に必要なレベルに全く達していないことを思い知りました。

③9月～11月

記述模試では相変わらずE判定でしたが、夏に共通テスト模試でC判定を取れたことや、文化

祭と体育祭があったこともあり、勉強をあまりしなくなっていました。思い返しても、この時期は本当に失敗だったと思います。共通テスト模試も周りが点数を上げている中で、点数が全体的に下がり判定もまた E に落ちてしまいました。模試は“模擬”試験とあるように、練習なのでそこまで判定に一喜一憂する必要はないですが、当時は必要以上に判定を気にしていたこともあり、残りの日数が、1日1日と減っていく中で再び焦り始めました。

④共通テスト前

一度成績が落ちてからは、12月にある最後の校内模試までずっと E 判定だったことと、残り日数が少ない中で勉強の習慣を付けられなかったことでとても危機感を感じていました。しかし、これまでに調べてきた情報から共通テストの傾向と対策、そして自分の伸びそうな分野と苦手な分野、共通テスト利用に使う教科などの把握や志望校のボーダーラインへの目標点数の設定をし、短い時間の中で、『効率的な』勉強と【体調の管理】を心がけながら学習していました。また、試験当日に全く緊張しない気持ちづくりも大切だなと思います。本番は緊張せず気楽に試験に臨んでください。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

共通テストの結果が、志望校のボーダーラインに達しており、リサーチ結果が B や C 判定だったので、踏ん張りどころだと思い、本格的な2次試験の勉強を始めました。それまでは、過去問をまともに解いていなかったために解き方があまり分からなかったことと、塾に通っていなかったので採点やアドバイスをくれる人が居なかったことで、八尾高校の国語科と英語科の先生に協力を依頼し、採点などをしてもらいました。5.6年分ぐらいの過去問を解いていくなかで、採点を頼んでいた先生の他、進路指導室の先生など様々な人からアドバイスや激励の言葉をもらい、精神的にも本当に助かりました。2次試験の問題の特徴などを掴みつつ、完璧を求めて時間を浪費するのではなく、制限時間内に答案に近く合格最低点を越す解答を目標にしました。

*私立入試直前

共通テスト利用で、立命館大学と関西大学の2校を受け、合格していたため、私立大学の一般受験はしませんでした。共通テスト後に国公立1つの勉強に専念出来たことと、私立大学を確保出来ていたことが、大きな心の支えとなり、志望校合格に繋がった自分の中の重要な要素の1つだと思っています。

(5) 大学受験で大切なこと

受験で僕が大切だと思うことは大きく分けて3つあります。1つ目は、本番で自分の100%の力を出し切るということです。受験の世界では残念なことにどれだけ頑張ってきたかという過程やどれほどその大学に入りたいという気持ちなどは一切見てくれません。大学が見てくれるのは当日の点数だけです。だからこそ、本番で全力を出し尽くせるように、集中力を維持するためのラムネやチョコなどのお菓子や適度な水分を摂ること、トイレ休憩などを徹底してください。2つ目は、受験は『情報戦』だということです。志望校の必要科目や傾斜、共通テスト利用の有無やその方式の違い、問題の傾向や対策などの様々な情報、学校や塾の先生やサイトからの勉強法のアドバイスなどの情報、そういったありとあらゆる情報を自分の勉強に活かしていく事はとても

重要です。3つ目は、自分に合った勉強法を見つけることです。ネットにある勉強法や人が言っている勉強法に必ずしも従う必要は無いと思います。合うか合わないは人それぞれなので、自分の中で色々な要素を吸収して、自分に適したやり方を見出して行ってください。また、何か自分の中で強みのある教科を1つ作るのも大事です。

(6) 後輩へのメッセージ

受験生になると色々な不安に駆られるだろうし、周りと比べて落ち込むこともあると思います。ですが、そんな時間も気付けばすぐに終わります。本当に一瞬です。志望校に合格した時、自分はもちろんですが、周りの人には自分以上に喜んでくれる人もいます。受験からの解放感と共に、大学生という新たな道が拓けます。自分自身の可能性も今まで以上に広がります。合格した時のことを思い浮かべてみて下さい。もし、ほんの1ミリでもいいなとか、合格したいなとか思ったのなら、後回しにしないで、思ったその瞬間、『今』頑張ってみて下さい。どれだけ結果が表れていなくても、頑張っている自分っていうのは必ず前進しています。それがもしも目に見えないくらい僅かなものだとしても、何もやっていない自分よりは確実に成長しています。後退していることは絶対にはないと思います。八尾高生の皆さんを応援しています。

⑥ Y. F さん 兵庫県立大学 工学部 前期合格 ソフトボール部 兼 生徒会

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

学校の授業についていけなくなり、1年の6月頃から塾に通っていたのですが、時間を有効に使うために部活が終わればそのまま塾に行って勉強するという習慣をつけていたので、3年の忙しくなる時期には、時間を上手く使えるようにはなっていました。

(2) 1. 2年時の学習方法

1、2年のときは真面目に勉強していたものの、自分に合った勉強法が分からなかったせいか、成績は下から数えた方が早いところがありました。ただ、提出物は答えを見ずにちゃんとやりました。(そのおかげ?で、ほとんど勉強しなかった共通テストの国語で過去最高点を取ることができました)

(3) 志望校の決定について

元々国公立志望だったのですが、具体的なものは2年の夏頃から考え始めました。まず、自分の就きたい職業が教員だったので、始めは教育学部を志願していたのですが、それだと教員以外の選択肢が狭まると思い、教員免許がとれる、教育学部以外の学部を探すことにしました。そして、自分の4年間学びたいと思う学問を探して行きたい大学を何校かに絞りました。(2年でしたことはこれくらい)3年になって、時間のとれる夏休みに実際にその大学を訪ねて、そこで第1志望校を決定しました。(最後は雰囲気や立地条件で決めました)国公立志望ということで、併願校も同じく3年の夏頃に考え始めたのですが、やはりお金がかかることから国公立のみの受験で挑むことを決意しました。

※志望校はやはり、自分の行きたいと思えるような条件が揃っている大学を志願することが大

切だと思えます。3年になって考えはじめる人もいますが、きっとそれだと学力が足りないことが多いし、調べる時間も十分にとれないと思うので、目標とする大学は2年の時期に大体定めておき、かつ、この時期からそれに応じた勉強をしていく必要があると思います。(定めただけで勉強しなければ意味がないので、、、)

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

受験直前期にもう一度復習し直さなくてもいいように、そのとき学校で習った分野をメインに勉強していました。特に2次試験で必要となる科目をしていました。この時期は、他の部活の人たちが先に引退して勉強に専念しようとしている時も、自分達にはまだ部活があったので、すごく焦りがありましたが、焦っていてもどうしようもないので、気にせずもっと部活に集中したらよかったと後悔がありました。切り替えを大切にして、目の前にある課題には思いっきり打ち込んで欲しいです。

②夏休み

生徒会での文化祭の運営や劇の準備などに追われ、思ったように勉強出来ないことが多かったです。ただ、隙間時間は有効に使い、学校にいない時は勉強の事だけを考える、というように切り替えは大事にしていました。また、自分の大学のテスト内容や難易度をある程度把握するため、2次試験過去問を1年分だけ解きました。(この時は全く解けません)夏休みが、英単語を覚える最後のチャンスと思うくらい英単語はこの時まで完璧にしておくべきです。夏休み以降に関しては、寝る前の最低30分は長文を読み込んでいました。また、数学もこの時期全く出来なかったので、Focus Gold I A II Bの星2~3(分野によっては4)を4周以上しました。(星の個数は難易度を示しています。)これで数学のある程度のパターンを頭に入れました。理科に関してはあまり力を入れていませんでした。社会は参考書1周しただけで、直前期に詰めました。

※夏休みを制するものは受験を制する、といいますが、夏休みに勉強時間を大量に確保できても、この時に勉強したところはだいたい忘れるので、その後の復習を大事にした方がいいと思います。(決めた問題を定期的に解くなど)また、夏休み終わりに思ったように時間が取れなくて、気持ち的にしんどくなっていましたが、夏休みに全て勉強し終えるわけではないので、頑張ったと思えるなら自分を認めることも大事だと思います。

③9月~11月

9月では、夏休みにやりきれなかったところや、復習をメインにしました。10月から共通テスト対策を本格的に始めました。また、自分の勉強への意識が甘いことに気がつき修正していました。(具体的には、その日に必ずできるようになった、と言えるところを作るようにする。根拠の無い自信を作らない。など)

共通テスト対策においては、国語以外は過去問には手をつけず予想問題集をやり込みました。(理由は、共通テストとセンター試験では時間配分や傾向が変わっているため、過去問より予想問題の方がやり込む価値があると思ったので、)

※過去問や予想問題の点数に一喜一憂しがちですが、過去問で取れなくても本番でとれるようになればいいと思って勉強していました。実際、模試などでミスを沢山して、上手いかわないときのパターンを沢山作っておいたので、本番も焦らずに挑むことができました。間違え

たところ・分からなかったところを潰そう、と自分に言い聞かせて、とにかくやり直しとミスの分析をやっていました。

④共通テスト前

配点の低い地理を本番1ヶ月前に本格的に詰めました。1冊を完璧にやり込み、1つの問題から周りの知識も一緒に覚えていくようにしました。また、共通テスト1時間目の科目に合わせて1日のうち始めに取り掛かる科目を決めていました。起床時間と就寝時間も共通テストを意識していました。そして、体調管理にはやりすぎというほど気を使っていました。試験直前期に入れた知識は本番に、そのまま忘れず持っていけるので、この時期はとにかく1日も無駄にしてはいけないと思います。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

共通テスト終わりの1週間に勉強した人とそうでない人で合否が別れる、と聞いたことがあったので、自己採点が終わった次の日から2次試験対策に取り掛かりました。この時に休憩を入れてしまうと、せっかくかかっていたエンジンをまた入れ直さないといけなくなり、時間もエネルギーも使うので、しんどくても耐えて勉強するべきだと思います。リサーチが返って来てからはまず、2次試験での目標点数を設定し、それに沿ってそれぞれの科目での目標点数を決めました。(この時高めに設定しておいたので、当日少しミスがあっても致命傷までにはいかなかったのですよ)問題集に関しては、大学の難易度に合った薄い問題集を新しく始め、それをやりこみました。さらに、大学の過去問10年分の出題範囲をピックアップして、よく出題されているところや出題傾向を読み、今年出そうな分野を徹底的にやりこみました。(結果的に、本番大体できてきました)2次試験当日に出てきた問題が解ければいいわけですから、完璧をめざすのではなく、出される可能性の高い問題をできるようにすることを意識すればいいと思います。(出来ないところを潰していきたくりますが、捨てる勇気も必要かと)

*私立入試直前

私立は受けずにいきました。

(5) 大学受験で大切なこと

過去問やその時解いた問題が解けなくて、焦ったり一喜一憂してしまうことがあると思いますが、それを引きずる暇があれば、なぜ分からなかったのかを洗い出して、改善するためには何の勉強をするべきかを考える方がいいと思います!模試でミスをしなかった人より、沢山した人の方が本番上手くいく可能性が高くなるので、沢山ミスをして、間違えるパターンをためていってください!よく間違えるところや、いつもわからなくなるところは、本番でも必ずと言っていいほど同じミスをしてしまうので、向き合って潰していった人が最後に勝つと思います。

(6) 後輩へのメッセージ

学校行事や部活よりも、勉強を優先させたいかなるかもしれませんが、3年はやっぱり高校最後の1年だし、大事な友達と過ごす時間は戻ってこないで、勉強も大切ですが学校での時間もおもいっきり大切にしてください。そして、一日が終わって布団に入った時、今日自分は頑張ったと思えるよう、日々勉強してください!模試や問題の出来具合で自分を評価しては気が持たないので、勉強内容で自分を褒めてあげてください!

⑦ A. F さん 大阪教育大学（特別支援教育専攻） 後期合格
吹奏楽部

(1) 教科外活動（部活動）と学習との両立について

部活動と両立はほとんどできていなかったと思います。家に帰ったあとは、ご飯・風呂・睡眠という生活でした。

(2) 1.2年時の学習方法

定期テストと小テストの勉強で復習をするというスタンスでした。それ以外はほとんど勉強をしていません。定期テストに関しては、1週間前くらいから提出物や学習をし始めるといった形で、小テストに関しては、テスト当日の通学時に電車の中で単語帳を見るというゆるい勉強をしていました。

(3) 志望校の決定について

もともと教師という職業には興味があったので、大阪教育大学のことを気になってはいました。高校2年生のときに、大阪教育大学が企画している「教師にまっすぐ」やオープンキャンパスに参加して、この場所で特別支援教育について学びたいという気持ちが確信に変わりました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

春休みのときは、塾で英語の文法や数学の苦手な部分の復習を軽く行っていました。英語の単語を本当に全く覚えていなかったので、英検2級を受けるという目的をもとに必然的に単語を覚える時間を増やしていました。このおかげで初級編の単語はある程度覚えることができました。

②夏休み

8月の前半まで部活動をしていたこともあり、それまでの期間は勉強をしていませんでした。引退後は、生物基礎や数学など理系科目の勉強をしました。しかし、この時期は塾にも通ってなくて家で学習をしていたので集中が続かずあまり身に入っていませんでした。ちなみに夏休みに固めておいた方が良いと言われている英語もほぼ勉強できていなかったです。

③9月～11月

夏休みが明けると、周りの人たちの空気感が変わっていて、そこで我に返りました。英語の単語帳を新しく買い、やっと初めて真面目に取り組み始めました。平日は7時間、休日は12時間を目標としました。通学中や休み時間を勉強時間に変えました。具体的に何をしていたのかというと、日本史の1問1答の単語帳、シス単、古単、フォーカスゴールド（数学の参考書）の星1・2・3の問題、学校で買った問題集、授業でもらった問題プリントのやり直しなどです。友人と通話しながら勉強したり学習時間を報告しあったりすることでモチベーションを上げていました。11月からは、共通テスト用の勉強を始めました。河合塾の黒本（共通テストの模試）を買って、問題傾向や時間配分を意識してアウトプットの練習をしました。私の場合はやり直しに凄く時間をかけていました。新しく個別塾に入り、先生に質問できる機会を増やしました。

④共通テスト前

すでに解いたことのある共通テストの過去問や問題集を満点がとれるまで何度も取り組むようにしていました。英語の文章を毎日寝る前に必ず1題は解くようにしました。共通テスト前は特に理科・社会に重きを置いていました。日本史の単語はある程度頭に入っていたが、流れがごっちゃになっていたため、日本史の流れを5時間程で説明してくれている動画を倍速で何度も見て覚えました。共通テストは体力や集中力も大切になってくると思ったので、年が明けてからは本番と同じ時間帯で過去問を解いてみるなど脳や身体をなれさせる工夫を行いました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

私の志望した学科は、前期が小論文、後期が小論文と面接だったので、小論文と面接の練習を同時進行で行いました。小論文に関しては、1日に4つは書く、同じ問題を最低でも3回は解くということを決めて取り組みました。添削は国語の先生にしてもらいました。教育や特支の本を読んで理解を深めていました。過去問は10年分くらいしたと思います。面接に関しては、沢山の先生に見てもらいました。

*私立入試直前

私立入試は受けていません。

(5) 大学受験で大切なこと

気の持ちようだと思います。受験をするということはもちろん落ちてしまう場合もあります。不合格という文字を見た時、自分の番号がなかったとき、凄くショックですがしっかり落ち込んだのち切り替えることが肝になってくると思います。でも、気持ちを高く持ち続けることは大変なことなので、方法の1つとして周りに話を聞いてもらうことが効果的だと思います。あと、しんどいときには休むことも凄く大切です。自分が気付かないうちに意外と限界を超えていたりします。だから、自分を大切するというのを覚えておいてもらえると嬉しいです。

(6) 後輩へのメッセージ

これから身体的にも精神的にもしんどいことが沢山あると思いますが、最後まで粘った分だけ合格の可能性は増えてくると思います。皆さんが希望する進路に進めることを願っています。応援しています！

⑧ A. H さん 大阪教育大学（中等教育専攻 国語教育）推薦型選抜合格 ソフトボール部

（1）教科外活動（部活動）と学習との両立について

私はソフトボール部を7月に引退するまでかなり部活に打ち込んでいました。疲れて勉強が出来ない日もあり、予習・復習が完全に出来ていた訳ではなかったので、授業中に出来るだけ理解しようと考えて取り組んでいました。

（2）1.2年時の学習方法

土日も試合があったりと、かなり忙しかったため、小テストや定期テストの勉強だけは行うようにしていました。英単語・イディオムは毎日ではありませんが、週に何個覚えるかを決めて見るようにはしていました。また塾で英語と数学を習っていたのでこの2教科は授業の予習・復習が出来ていました。

（3）志望校の決定について

高校受験の時から大学は大阪教育大学に進学したいと考えていていたため、高校も大阪教育大学と提携のある八尾高校に進学しました。専攻やコースの変更などはありましたが、受験勉強を始める頃には完全に決定していました。

（4）3年時の学習方法

①部活引退前

高2の学年末テストが終わった段階から塾で1、2年の復習を始めました。主に英語、古典文法、数学の復習を行いました。英文は500字程度を読み、数学はIAから順に復習を行いました。また、英単語・古典単語・古典文法を固められるように毎日見るようにしていました。私は、自分で勉強計画を立てる練習として2年の春休みを有効的に活用出来ました。例えば、絶対にすること（英単語を〇〇個覚える、ワークを〇ページ進める、など）を決めてスケジュール帳などに記したりして、塾の先生にもサポートしてもらいながら、計画的に受験勉強を進めていくための環境を作る練習をしました。また、学校の講習も積極的に利用しました。

②夏休み

夏休みは塾の夏期講習があり、英語・数学・国語を集中的に固めました。英語はセンターの過去問や河合の共通対策本などを解いて実践的な能力を伸ばすことを目標に取り組んでいました。夏休み中に、どんな時間配分で解いていけば良いかの自分なりの目安が出来ると、英語を勉強しやすくなると思います。数学は特に苦手教科だったので、基礎問題をたくさん解いてから夏休みの終盤にセンター試験の過去問を解き始めました。苦手教科は特に夏休みにたくさん基礎問題を解いて、少しでも苦手意識を無くすことが大切だと感じました。この時期からは日本史、政治・経済の予習復習を始めました。今まで習ったところの復習と予習を行い、夏休み以降は復習や過去問に時間を割けるように取り組みました。公募入試の過去問も解き始めました。

③9月～11月

推薦入試の面接が11月末あったため9月末から志望理由書、10月末から面接の練習を始めました。これと並行して共通テスト・公募制推薦の勉強を行なっていましたが、これまでよりも満足のいく勉強時間は確保しにくかったです。ですがそれはそこまで気にすることなく、やれる範

囲で続けました。この時期は公募制の推薦型選抜を受ける人はやることが多くかなり大変だと思いますが、無理をしすぎず、出来ることを継続して行うことが大切だと思います。

④共通テスト前

国語・英語・数学よりも暗記教科にかなり力を入れました。主にセンターの過去問を利用して、ラストスパートとして共テの前日まで詰め込んで勉強しました。前の3教科もできるだけ毎日触れるようにしていました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

2次試験は国語(現代文・古文・漢文)と面接のみでした。面接練習は推薦入試対策で行っていたので、推薦入試の結果が出てからしようと思い、現代文と古文の記述のワークを解いていました。漢文は基礎の句形を忘れないように頻繁に見るようにしていました。

*私立入試直前

私は公募入試も受けたので11月末ぐらいから赤本を解き始めました。おそらく公募を受けない場合はタイミングとしてはかなり遅いと思います。共テが終わるまでは、共テの勉強と並行して行い、共テが終わってからは毎日赤本を解きました。

(5) 大学受験で大切なこと

分からないことは周りの大人に頼ることが大切だと感じました。入試の仕組みや大学について自分で調べて理解することが出来れば1番ですが、曖昧なままで先延ばしにしてしまっていると間に合わなくなってしまうと思います。私は塾の先生に勉強計画の立て方や私立大学の公募入試について教えて貰い、学校の先生に推薦入試という入試方法があることを教えて貰いました。志望理由書や面接練習も学校の先生が丁寧に指導して下さいだったので、周りの人をどんどん頼って、余計な心配なしに入試に挑める環境を作ることが出来ると良いと思います。

(6) 後輩へのメッセージ

私は、まだ部活がある人は後悔が残らないように全力で取り組んでほしいです。部活は今しか出来ないのも、最後までやりきったという気持ちを持って、受験勉強に取り掛かることも大切なことだと思います。受験勉強は予定通りにいかなかったり、上手くいかないことが本当にたくさんあると思います。その時にめっちゃしんどくなったりすることもあると思いますが、私が受験を通して知ったことは、それは周りの友達も同じだということです。私はしんどい時に友達にたくさん支えてもらいました。受験は団体戦と聞きますが、本当にそうだと思います。自分1人だけが上手くいっていないと考え込んでしまわず、皆もそうだと割り切ったり、友達に相談して気持ちを聞いてもらったりして、息抜きも大切にしてほしいです。自分のペースで継続出来るよう、頑張ってください。

⑨ M. I さん 関西大学 総合情報学部
兵庫県立大学 国際関係学部 前期合格
部所属なし

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

私は、部活動に所属していなかったので1年生の時から塾に通っていて、数学と英語を中心に予習・復習をしていました。

(2) 1.2年時の学習方法

1年生の時は、塾の学習で数学と英語の予習・復習を行い、学校では小テストがある授業があったので、小テストに向けた勉強はしっかり取り組むようにしていました。国語・社会・理科については定期テスト以外で勉強することは少なかったです。2年生の時は、前半は自粛期間があったもののなかなか気持ちが勉強に向かず、与えられた課題をするだけだったけれど、後半は自粛期間が明けて勉強に対するモチベーションが戻り、塾では数学・英語に加えて、社会も勉強するようになりました。

(3) 志望校の決定について

高校3年生の4月頃は国公立大学の数学を活かせる経済学部に行きたいと思っていたので、神戸大学を第一志望にしていました。私立大学は7月頃に英語が苦手だったので国語と数学だけで受験できる関西大学の総合情報学部を決めました。1月に共通テストを受験して、自己採点をした結果、思っていたよりも点数が取れなかったので、経済と経営の両方を学ぶことができる兵庫県立大学の国際商経学部を受験しました。こうして受験が終わり、国公立大学と私立大学ともに合格することができました。どちらの大学に行くか考えた時、情報学が今の時代に必要だと思ったので関西大学の総合情報学部に行くことを決めました。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

夏休み前は基礎固めが大事なので、国語は古文単語や漢文の句形の暗記、数学は基礎問題の復習、英語はシス単で単語の暗記を重点的にしていて、理科・社会は学校や塾で学習したことの復習ぐらいしかしていませんでした。

②夏休み

夏休み頃から国語・数学・英語は共通テストの演習を少しずつ始めていき、理科・社会はひたすら暗記していました。

③9月～11月

数学と英語は共通テストと2次対策の勉強を並行してやっていました。国語は共通テスト対策を中心にやって、理科・社会は問題演習を始めていきました。また、私立大学の過去問題を徐々に進めていきました。

④共通テスト前

学校では自習が多かったので、その時間に理科・社会の苦手なところを復習して、学校以外の時間はひたすら問題演習をしていました。問題演習を終えた後の復習はしっかりやっていました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

共通テストの結果を踏まえて受験する大学を決めたので、過去問を一度も解いていなかったの
で、過去問にすぐに取り組みました。塾でも問題演習を重ねてどんな問題でも対応できるよう
にしていました。過去問と塾の問題演習のやり直しは丁寧に時間をかけてやっていました。

*私立入試直前

私立大学は大学によって傾向が違うので過去問はしっかり取り組むようにしていました。赤本
に載っている分をすべて解ききって問題に慣れて受験に臨めるようにしていました。

(5) 大学受験で大切なこと

私は夏休み以降から体調を崩してしまって、思うように勉強を進めることができませんでした。
なので、受験生は体調管理が一番大事だと思います。また、最終進学先の決定は受験をすべて終
えてから自分が何をしたいのかをじっくり考えてするのがいいと思います。

(6) 後輩へのメッセージ

受験はしんどいことが多いけれど、私は学校に行って友達と話していると気持ちが楽になるこ
とがあったので、しんどい時こそ学校に行ったほうがいいと思います。体調にも気をつけながら
自分が納得する形で受験を終えられるように頑張ってください。

⑩ T. Yさん 早稲田大学 社会科学部 男子ハンドボール部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

学習と部活動の両立は可能だと思う。

(2) 1.2年時の学習方法

1、2年は特に何もしていなかった。強いて言うなら、テスト前だけ赤点を取らない程度に、
チョコッと勉強していた。

(3) 志望校の決定について

五月の初めに決めた。慶應とは悩まなかった。早稲田の方がキャンパスが広いこと、学生数が
多いこと、留学制度が整っていたり、留学生が多いといった国際色が強いこと、以上が、僕が慶
應ではなく、早稲田を選んだ理由である。

(4) 3年時の学習方法

暗記/夜寝る前にして朝起きて復習/隙間時間

①部活引退前

英語 単語は2000語くらい 文法はスタサブの授業 ネクステほぼ解けるレベルまで
英文解釈基礎 ok 発展かじるくらい パラグラフリーディング方法を知る 音読
国語 読解力つける 勘でなんとなく解くことに危機感覚える
古典 300語くらいの単語帳 文法固める 漢文何もしていない
日本史 何もしていない 定期前に授業プリントで勉強するくらい

②夏休み

英語 早慶レベルの単語帳 早慶レベルの文法 パラグラフリーディング特訓
早慶レベルの英文解釈

現文 勘で解く癖がなくなりつつある 答えの根拠を徹底的に考えた

古典 単語300 文法復習 古文の読み方勉強 この助詞の後主語変わりやすい的なやつ

漢文 句形覚える 早覚え即答法

③9月～11月

英語 早慶レベルの長文を多読 早慶レベルの長文で音読 単語 文法 解釈復習

現文 テーマや評論特有の流れ知る 例. アイデンティティの話はほぼ例外なく、結局自己は他人との関わりの中で形成されると言うことが主張される的なやつ 筆者の主張は常識や既存の価値観の否定 たくさん文章を読むことでわかってくる

古文 早慶レベルの文章読む 夏までの復習

漢文 早覚え復習

日本史 早慶レベルの通史 仏像以外文化史ちよくちよく

全科目 九月からちよつとずつ過去問解き始めた

④共通テスト前

英語 過去問 音読 / 国語 過去問

日本史 過去問 早慶レベルの通史 仏像以外文化史ちよくちよく 東進の一问一答で
全科目 過去問でミスした問題を分析して穴があれば参考書に戻り復習していた。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

受験していない

*私立入試直前

過去問 1週間前からは過去問解かず単語や語句復習 音読

過去問は全科目7割目標

(5) 大学受験で大切なこと

勉強方法を徹底的に調べること

十分な時間勉強

情報戦に勝つ 例. ネットのワケのわからない情報に惑わされない

配点 頻出分野を知る など

勉強スケジュールをしっかり練る

(6) 後輩へのメッセージ

あまり周りと比べる必要ないです。早稲田なら大体3科目の合計で7割取れば受かります。自分のペースでやって最終的に二月に過去問、本番のテストで7割取れたらいいんです！浪人生を怖がる必要ないです。春や夏は負けますが、ちゃんとやっていたら秋や冬ごろに追いつき追い越せます。目標は高く持つのもあります。早慶なら言うても3科目なので本気で勉強すれば受かります。大学受験は本気で取り組む価値のあるイベントだと思います。全員が第一志望の進路に合格できることを願っています！！

⑪ Y. S さん 同志社大学 理工学部
バスケットボール部

(1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活をしていた時は本格的に受験勉強をしておらずあまり両立はできていなかった。

(2) 1.2年時の学習方法

授業をしっかり聞くようにしていた。

文武両道・質実剛健、八尾高校の求める人間像を追求する。

(3) 志望校の決定について

私立大学は国公立大学と比べていろんな人と出会えたり、施設も充実していて魅力的に感じた。

関西で一番レベルが高いので同志社大学に決めた。

(4) 3年時の学習方法

①部活引退前

授業を大切にす。

②夏休み

数学、物理の基礎を固めることに集中した。

あとはひたすら問題集と過去問を解いていた。

自分のしんどくならないくらいの時間を毎日継続して勉強することが大切だと思う。

③9月～11月

問題集を解く。できなかった問題は何周もする。

学校は休まない。遅刻もしない。

④共通テスト前

私立専願の人は共通テストのための勉強はしなくていいと思う。

共通テスト利用を考えている人もいると思うが一般で受かるほうが簡単だと思う。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

ひたすら過去問を解きまくる。

傾向をつかんで形式に慣れることが大切だと思う。

*私立入試直前

ひたすら過去問を解きまくる。

単語帳は完璧に。

気負いしすぎない。

(5) 大学受験で大切なこと

「これだけ頑張ったんやから、まあ、受かるやろ」ということ。

メンタル結構大事です。

(6) 後輩へのメッセージ

人生最後の受験生楽しんでください。



大阪府立八尾高等学校